

公益財団法人まちみらい千代田
第13期第5回理事会 議事録

1 日時

令和8年4月22日(水)午前10時00分から午前10時57分まで

2 場所

ちよだプラットフォームスクウェア4階401会議室

3 理事現在数

6名

4 出席者

(1)理事・監事

理事(5名)細越正明(理事長)、小川智由、齊藤広子、岩崎俊治、安富祥勝

[欠席]印出井一美

監事(1名)渡邊牧文

(2)事務局

細越正明事務局長兼務及び産業グループマネージャー(以下、「GM」という。)事務取扱

堀切俊秀 GM、中元邦博 GM

5 議題

[報告事項]

(1)理事長の職務執行状況報告

[決議事項]

(1)議案第10号 公益財団法人まちみらい千代田 第14期事業計画(案)について

(2)議案第11号 公益財団法人まちみらい千代田 第14期収支予算(案)について

(3)議案第12号 公益財団法人まちみらい千代田 第14期資金調達及び設備投資の見込みについて

(4)議案第13号 公益財団法人まちみらい千代田 職員の給与に関する規程の一部を改正する規程について

(5)議案第14号 公益財団法人まちみらい千代田 財務規程の一部を改正する規程について

(6)議案第15号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について

[承認事項]

(1)公益財団法人まちみらい千代田 特定費用準備資金の積立について

6 開会、あいさつ、定足数確認

配付資料の確認後、細越理事長が議長となり、開会を宣言した。細越理事長の開会あいさつに続き、中元GMより、本日の出席者数は定款第46条で定める定足数を満たしており、本理事会が有効に成立している旨の報告を行い、議事に入った。

7 議事の経過および結果

[報告事項]

(1) 理事長の職務執行状況報告

理事長の細越理事が、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項」及び「定款第34条第3項」に基づき、職務執行状況報告を以下のとおり行った。

第14期の計画策定、予算編成にあたり、公益法人改革の趣旨、財団のこれまでの取組みの成果、さらには利用者ニーズを踏まえ、3つの基本方針のもと取りまとめをした。

基本方針の第1は、伴走型・アウトリーチ型支援の充実である。まちみらい千代田の強みは、地域との距離が近いことであり、現場の声を直接聞くことができることである。そうした強みをいかして、当事者に寄り添ったサポート体制を構築し、各種施策に反映させていく。

基本方針の第2は、地域のネットワークづくりの推進である。まちみらい千代田は、これまで地域の草の根活動を支援するなど、地域のネットワークづくりに努めてきた。一方、そうした地域活動を持続可能なものとする下支えができないか思案してきた。今般、まちづくりサポート事業のテーマ部門を活用して、その方策を募る試みを検討することとした。

基本方針の第3は、情報発信の充実である。まちみらい千代田は2005年に設立され今年で21年目を迎えるが、その認知度は必ずしも高いものではない。今後も引き続き SNS をはじめ、多様な広報媒体を活用することで、まちみらい千代田の取組みを地域に広く周知し、事業効果を高めていく。

これまで、当財団が制度改革の趣旨を踏まえ、地域課題の解決に向け、前例に捉われることなく果敢にチャレンジすることで、その存在意義を示していく決意を職務執行状況報告の中で申し上げてきた。今後も引き続き、こうした考え方のもと、地に足着いた財団ならではの取組みに注力していくことを告げた。

[決議事項]

(1) 議案第10号 公益財団法人まちみらい千代田 第14期事業計画(案)について

(2) 議案第11号 公益財団法人まちみらい千代田 第14期収支予算(案)について

(3) 議案第12号 公益財団法人まちみらい千代田 第14期資金調達及び設備投資の見込みについて

議案の審議に入る前に、細越理事長から議案第10号、議案第11号及び議案第12号は、関連があるため、一括して審議を行いたい旨の提案をしたところ、全員異議なく了承した。

細越理事長が、第14期事業計画(案)の概要及び収支予算(案)、資金調達及び設備投資について説明を行った。また、現在、当財団が東京都から認定を受けている事業内容について、資料で確認の上、令和8年度事業が、認定された内容に沿って実施されることを事業計画等にて説明した。その後、各GMから担当事業の詳細について説明を行った。

住宅まちづくりグループの事業は、堀切GMが報告を行った。

産業まちづくりグループの事業は、細越理事長が報告を行った。

協働まちづくり・総務グループの事業は、中元GMが報告を行った。

なお、説明後に以下の質疑があった。

(理事)

マンション管理計画認定制度の申請件数が順調に伸びてきているが、実績はどのくらいか。千代田区内の分譲マンションはいくつあるのか。

(事務局)

区内の分譲マンションは、現在509棟ある。そのうち認定件数は現時点で30件以上になる。

(理事)

認定制度説明会にはどのくらいの人数が参加されるのか。

(事務局)

この説明会は管理組合向けではなく管理会社向けであるため、参加人数はそれほど多くはない。管理会社は独自の評価制度をもっていて、評価制度と認定制度がほとんど同じものだと捉えており、評価制度の申請が通るのであれば認定制度の申請も通ると認識してしまっている。そのため、管理会社向けに十分な説明をしていきたいと考えている。

(理事)

首都圏直下型地震が起きた時に、マンションの方が全員避難所に行ったら混乱が生じるので、東京都も「とどまるマンション」という制度で在宅避難を促進している。在宅避難を促進する体制を整えるという観点から、まちみらい千代田が支援する制度はあるのか。

(事務局)

マンション防災計画等の策定支援制度がある。防災アドバイザーを派遣し、計画策定の支援を行っているが、その中で在宅避難の促進も行っている。

(事務局)

補足になるが、管理組合やマンション住民の理解がないと進まないのので、マンション連絡会やマンション管理講座を開催して、その中のテーマの一つとして管理計画認定制度や在宅避難の啓発を図っている。

また、マンション単位であるがエレベーターキャビネットの配布や防災資機材の購入費助成をしており、「とどまるマンション」の一助となればと考えている。東京都にもマンション連絡会に参加してもらい、「とどまるマンション」の必要性を伝えている。

(理事)

神田錦町三丁目南部東部地区の再開発の話があったが、千代田区の他の地域の再開発についてはどう考えているのか。

(事務局)

千代田区内では色々な地域で再開発が進んでいる。再開発して終わりではなく、将来的に地域の活性化につながるようなまちにするため、区はエリアマネジメント型のまちづくりを検討している。まずはまちみらい千代田がある神田錦町三丁目の再開発について、将来的にまちみらい千代田が再開発のサポートができるかどうかも含めて検討しているところである。

(理事)

ビルに関しては、マンションと異なり、個人の住宅であり貸しビルでもあるが、非常に老朽化が進んでいて耐震

関係等で問題を抱えている。このようなビルに対して、マンションと同じようなレベルで支援していくべきである。

(事務局)

現在、まちみらい千代田のあり方について区で検討しているところである。そうした中で、区内の中小ビルに対する支援策について、課題の一つとして認識しているところである。

(理事)

「ちよだ地方連携ネットワーク」事業の支援として、現在、地方都市ではどういうところを考えているのか。

(事務局)

千代田区の場合は、姉妹都市提携を結んでいる秋田県五城目町や群馬県嬭恋村と適宜行っており、それ以外にも環境を切り口にした地方都市との連携などを行っている。今はまだ特定の自治体ということではなく、広い意味で地方と連携の方策を探れないか検討していくところである。

(理事)

まちの文化という面で、千代田区には江戸時代からの文化資源が山のようにあるが、それを後世に残すような郷土資料館がないので、まちみらい千代田にも少し考えていただきたい。また、千代田区の中で、文化的なことを調査している方もたくさんいる。その方々が亡くなると資料とか財産も無くなってしまうので、ぜひ検討していただきたい。

(事務局)

今回いただいたご意見については区の文化担当部局と情報共有し、今後の検討事項として受け止める。

祭礼文化の継承に関する調査を13期から始めたが、その延長線上に、祭礼文化だけでなく、広い意味で文化資源をどう残すかということにつながると思う。

質疑応答後に、本議案を出席理事に諮ったところ、全員異議なく議決した。

(4)議案第13号 公益財団法人まちみらい千代田 職員の給与に関する規程の一部を改正する規程について
細越理事長が、千代田区職員の給与改定に伴い、公益財団法人まちみらい千代田職員の給料表等について、所要の改正を行う必要があることを説明した。その後、本議案を出席理事に諮ったところ、全員異議なく議決した。

(5)議案第14号 公益財団法人まちみらい千代田 財務規程の一部を改正する規程について
細越理事長が、国や千代田区において随意契約の基準額の引上げを行ったことに伴い、所要の改正を行う必要があることを説明した。その後、本議案を出席理事に諮ったところ、全員異議なく議決した。

(6)議案第15号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について
細越理事長が、第13期第3回評議員会の開催日時・場所及び議題の説明を行った。その後、本議案を出席理事に諮ったところ、全員異議なく議決した。

[承認事項]

(1)公益財団法人まちみらい千代田 特定費用準備資金の積立について

細越理事長が、第16期(令和10年度)に実施予定の千代田区分譲マンション実態調査のための費用として資金の積立を行う旨の説明を行った。その後、本事項を出席理事に諮ったところ、全員異議なく承認した。

8 閉会

以上、本日の理事会は、議案の審議を終了したので、細越理事長は閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、理事長および監事がこれに記名、押印する。

令和8年4月22日

公益財団法人まちみらい千代田
第13期第5回理事会

理 事 長

監 事